

平成20年9月18日 感染症危機管理研修会

アウトブレイク対応の実例

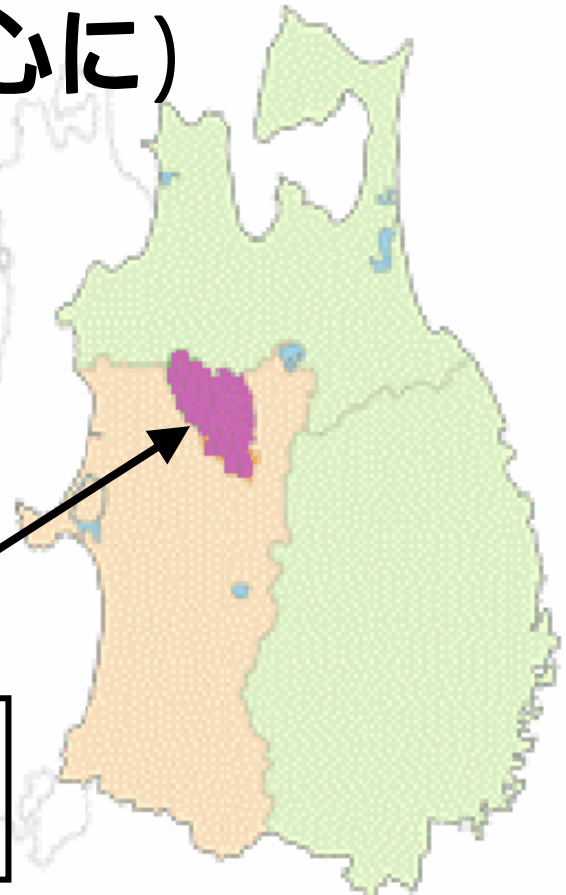
秋田県における麻しん対応 (大館市事例を中心に)

秋田県

健康福祉部 健康推進課

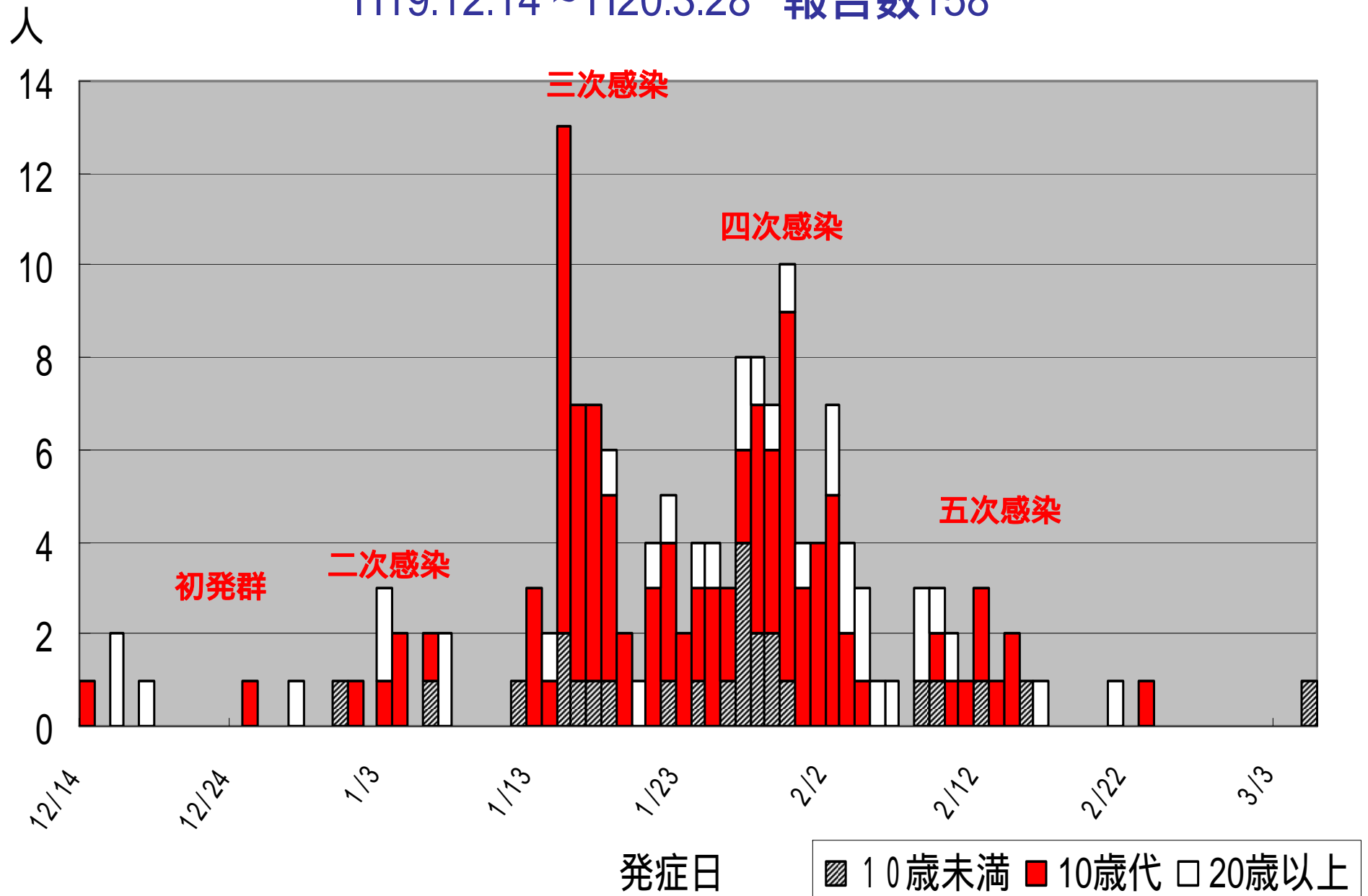
滝本 法明

大館市:人口8.2万人
秋田県北部の中心都市



秋田県 麻疹発症状況

H19.12.14 ~ H20.3.28 報告数158



流行前の取り組み等

第2期MRワクチン接種率(%)

	大館市	秋田県	全国
H18度	84.9	90.3	79.9
H19度	96.4	95.8	87.8

背景:昭和63年(1988年)秋田県の麻疹大流行

秋田県小児科医会、日本小児科学会秋田地方会の調査

S63.9～H1.8(1年間)の患者数3,832名、うち死亡者9名

0～3歳が3/4(ピーク1歳1,000名以上)

4,000名規模の流行と推測、死亡確認計10名

流行前の取り組み等

H18までの感染症発生動向調査(定点)報告数

秋田県	麻しん	成人麻しん
H16	4	0
H17	7	0
H18	5	0

H19

5/18 6年ぶりに成人麻しんの届出

5/28 **県独自の麻しん全数報告制度開始**

5/29 秋田県麻しんQ&A 作成

秋田県麻しん流行時における対応要領 作成



くらし・環境 | 健康・福祉 | 教育・文化・交流 | 産業・労働 | 社会基盤 | 県の行政・施策 | 組織別案内

| 総合相談窓口 | English | 音声読み上げソフト | 使い方ヘルプ | サイトマップ | RSS配信

美の国あきたホーム > 総合相談窓口 > 総合案内窓口 > 暮らしに関わること > 健康と医療
 美の国あきたホーム > 健康・福祉 > 健康・保健 > 感染症と難病

[2008年7月11日更新]

麻しん(はしか)に注意！！

麻しん対策と患者の発生状況

①全数把握調査

昨年度秋田県では、182件*の届出を受け付ました。

※ 5月28日～11月2日 散発的な届出が24件(最多受付保健所:由利本荘14件)、
 12月18日～3月14日 人館市を中心とした断続的な届出が158件

今年度の届出状況は次のとおりです。

●全数把握の届出状況(4月1日～)

件数	届出日	発症日	患者情報			患者居住地	受付保健所
			年代	性	予防接種歴		
5	7月11日	6月30日	20歳代	女	1回	秋田市	秋田市
4	6月6日	5月30日	30歳代	女	不明	にかほ市	由利本荘
3	5月28日	5月26日	20歳代	男	1回	神奈川県	湯沢
2	5月4日	4月29日	1歳未満	女	なし	東京都	横手
1	4月11日	4月6日	10歳代	男	1回	羽後町	湯沢

②感染症発生動向調査(週報)

感染症発生動向調査は、秋田県感染症情報センターホームページ
 (http://icsc.pref.akita.jp/kss/week_tei.asp)に掲載しています。

流行前の県庁・衛研 の取り組み

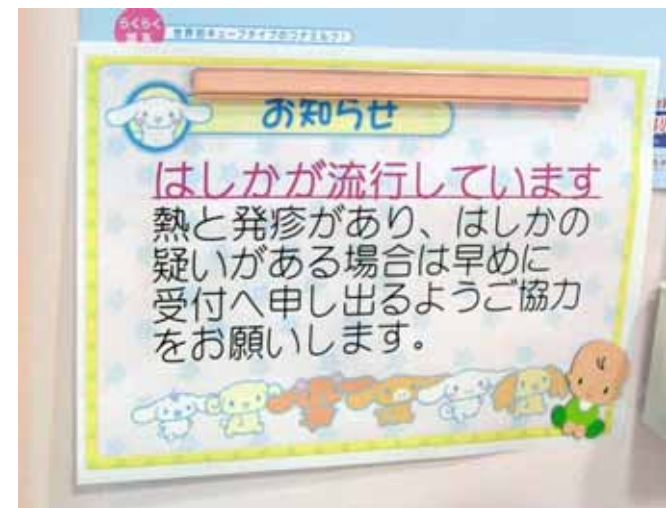
健康環境センター

- H19 5/18の成人麻しん届を受けて
- 6/5 県審議会感染症対策分科会開催
保健所の積極的疫学調査、指導のあり方、
医療機関の対応、ワクチン不足時の優先順位、
公表のあり方 を協議
- 6/14 県医薬品卸組合にワクチン供給体制整備依頼
- 8/1 医療機関での麻しん診断に衛研PCR検査導入
県から関係者に通知（国体に備えた措置）
- 1/9 衛研で保健所担当者の麻しん抗体価測定開始

医療機関の対応

大館市立総合病院

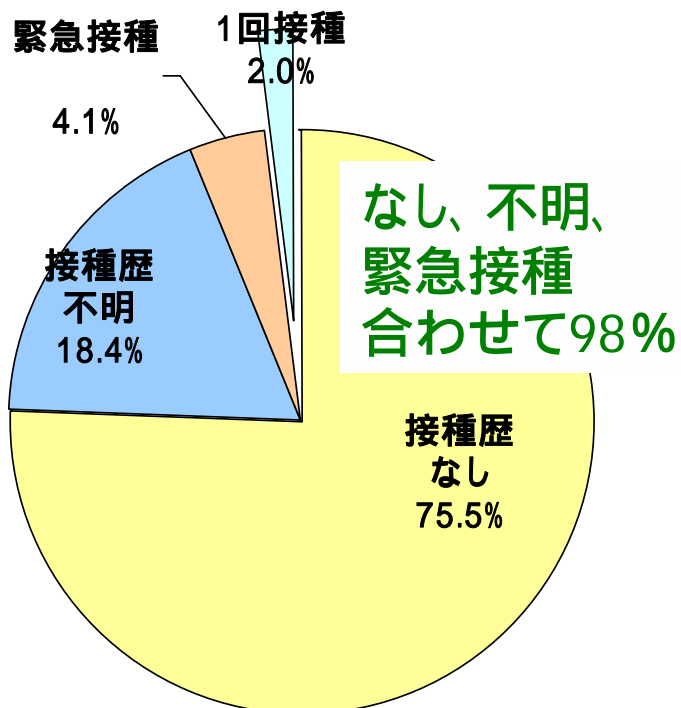
- 12/17～ 数日おきに麻疹患者が受診
 - 患者の周囲に積極的に予防接種を実施
 - 接触者が10日おきに発症
- 1/5～ 毎日患者が受診
- 1/8、当該病院小児科医が同市保健センターへ緊急ワクチン対策を進言



秋田県 麻しん発生届出状況

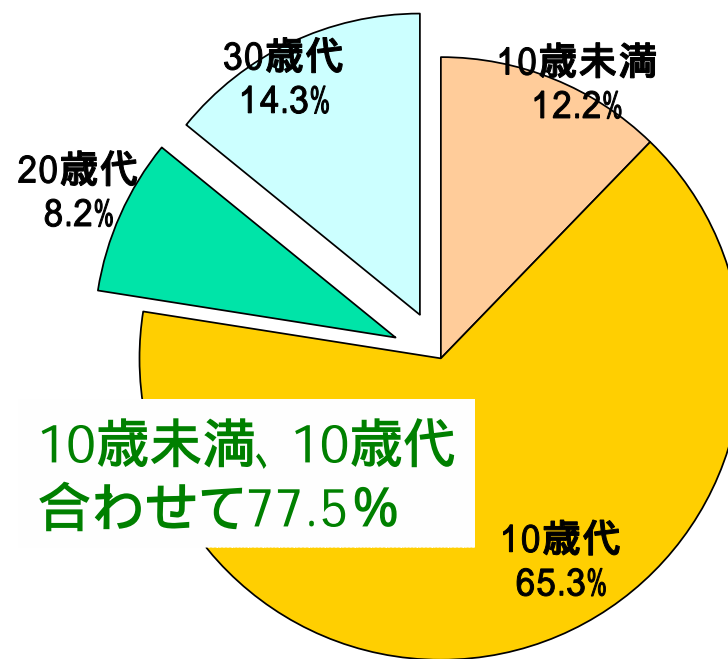
H19.12.19 ~ H20.1.21時点 報告数49

報告された患者の予防接種歴



周辺の人が発症により緊急的に接種した

年代別麻しん発生状況



医療機関に衛研の検査を利用いただき、麻しんの流行傾向を迅速かつ正確に把握した。

大館市行政の対応

H20

1/10 **公費補助緊急接種を決定** 進言から2日

6ヶ月以上乳児、ワクチン未接種の幼児、小中高生対象

1/15 **公費補助麻しん緊急予防接種開始**決定から5日

小中高校始業式

大館市麻しん緊急予防接種

実施期間:平成20年1月15日(火)~2月29日(金)

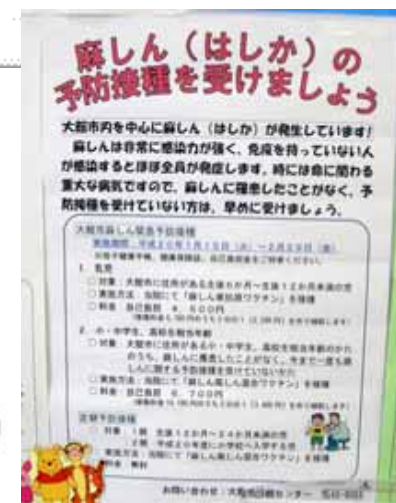
※できるだけ早めに受けてください。

乳児

- 対象:大館市に住所がある生後6か月から生後12か月未満の児
- 実施方法:市内小児科にて「麻しん単抗原ワクチン」を接種
- 実施医療機関:予約が必要です。実施日時は医療機関へお問い合わせください。
- 料金:自己負担 4,500円(接種料金6,790円のうち3分の1(2,290円)を市で補助します)
- 持ち物:母子健康手帳、健康保険証、自己負担金

小・中学生、高校生相当年齢者

- 対象:大館市に住所がある小・中学生、高校生相当年齢のかたのうち麻しんに罹患したことがなく、今まで一度も麻しんに関する予防接種を受けていないかた



大館保健所・県庁の対応

12/28 **報道発表** 発生届4名(大館3名)

1/4 保健所、市町に通知:注意喚起と定期接種徹底

1/7 **報道発表** 発生届4名(大館)

1/9 **報道発表** 発生届5名(大館)

1/10 保健所長、養護教諭研修会

1/16 保健所麻しん対策連絡会議

医師会、病院、市町村、近接保健所、学校関係者 31名出席

早期の接種率向上へ対策を協議



大館保健所の対応

H19

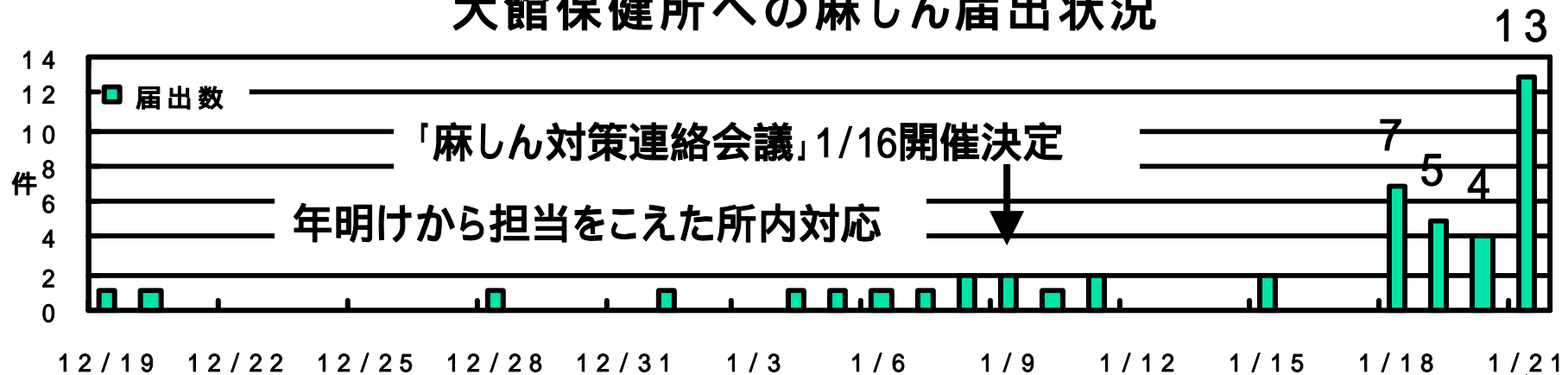
12/19 ~ 麻しん届出受付

患者に接触した未罹患・未接種者は、ほぼ全員発症していた

・1/1から独自の連絡票を作成し積極的疫学調査・啓発

・大型店従業員発症 店内に貼紙、従業員への接種勧奨

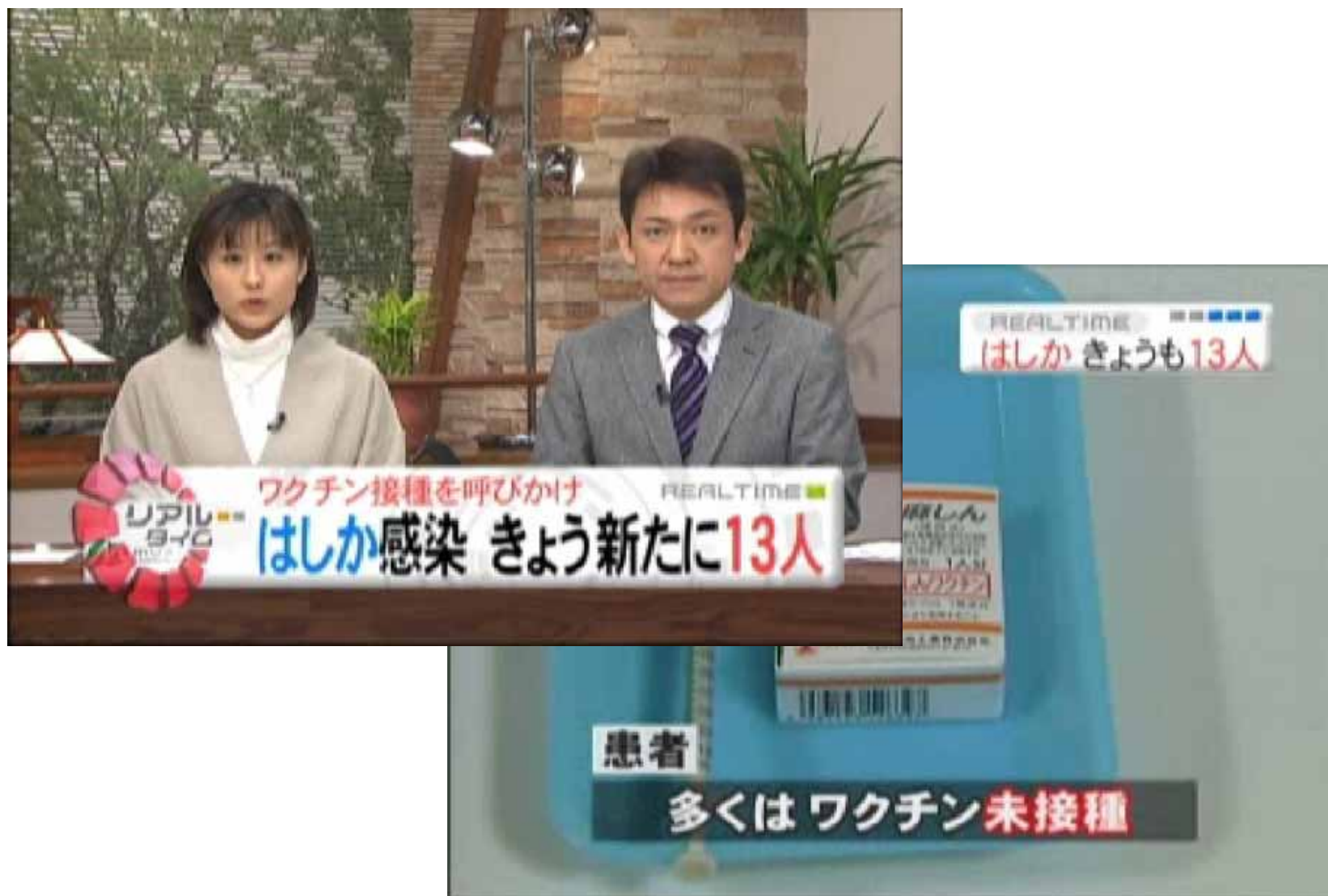
大館保健所への麻しん届出状況



1/21、1日に13件の届出:個別訪問調査中止、電話・アンケート対応に切り替え

1/21 市予防接種協議会が「非常事態宣言」

テレビ:ABS秋田放送Realtimeあきたニュース 平成20年1月21日放送から



掲載許可取得済

教育委員会の対応

1/8 県教委：各学校へ通知 健康観察、接種勧奨

1/21 市予防接種協議会が市教委への学校保健法
第12条の適用を進言

学校保健法第12条

校長は、伝染病にかかつており、かかつておる疑いがあり、又はかかるおそれのある幼児、児童、生徒又は学生があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

1/22 大館市内小中学校が1/28まで接種しない生徒等の出席停止を通知：進言の翌日

1/23 県教委が大館市内を含む県北部高校へ接種しない生徒の出席停止を通知

大館市教委

未接種者は出席停止に

はしか感染 拡 大で 対策部も非常事態宣言

大館市ではしか(麻疹)の感染が広がっていることを受け、市教委は22日、27日までに予防接種を受けていない児童生徒に対し、学校保健法に基づ



く出席停止を求める方針を固めた。保健センターで開いた市緊急対策部(部長・齋藤誠市民部長)で報告し、各小中学校に通知した。

対策部によると、21日までの未接種者は小中学生で220人。教委が県に相談したところ、発症の恐れがある子どもに対する出席停止は法的に問題ないとの見解を受けたため、感染拡大防止を目的に実施することにした。出席停止期間については医師会と相談して近く決めることにしている。

市立幼稚園や保育所で大館市麻しん緊急対策部の会議

全県麻しん緊急会議
29日・秋田市
県は29日午後1時から、市町村の予防接種担当や教委職員を対象とした麻しん対策緊急会議を、秋田市の県総合保健センターで開く。

平元小で集団風邪
1、2年生を給食後下校に

鹿角市教委は22日入った連絡によると、平元小学校(全校児童112人)でインフルエンザとみられる集団風邪が発生した。欠席が相次いでいる1、2年生の授業を切り上げ、22日から25日までの間、給食後に下校させる措置を取った。
1年生17人、2年生23人のうち、4割余りが欠席している。このうち、12人がインフルエンザと診断された。

教 高 ー 1 8 3 5
平成20年1月23日

県北地区県立学校長 様

参事(兼)保健体育課長
高校教育課長
特別支援教育課長

麻しん感染拡大防止について（通知）

（ 一 部 略 ）

大館市では「非常事態宣言」を出して、対応を強めております。

また、届出のあった患者のうち、予防接種を受けたことがない者37件、予防接種を受けたか不明の者9件、合わせて46件、94%を占めております。

つきましては、今後の学校における麻しん感染拡大防止のため次のとおり、対応をお願いします。

なお、教職員に関しても、麻しん罹患歴が不確かな者に対しては、同様に接種勧奨を強くお願いします。

- 1 麻しんワクチン未接種者及び接種歴不明者（麻しん罹患歴のある者を除く）に対し、速やかに接種勧奨すること。
- 2 麻しんワクチン未接種者及び接種歴不明者（麻しん罹患歴のある者を除く）については、学校医と協議の上、出席停止（学校保健法第12条による）の対応をとること。
予防接種後、出席停止を解除すること。
- 3 出席停止に該当する児童・生徒については、外出を控えるよう指導すること。

教育委員会の対応

大館市での出席停止措置実績:1/23～

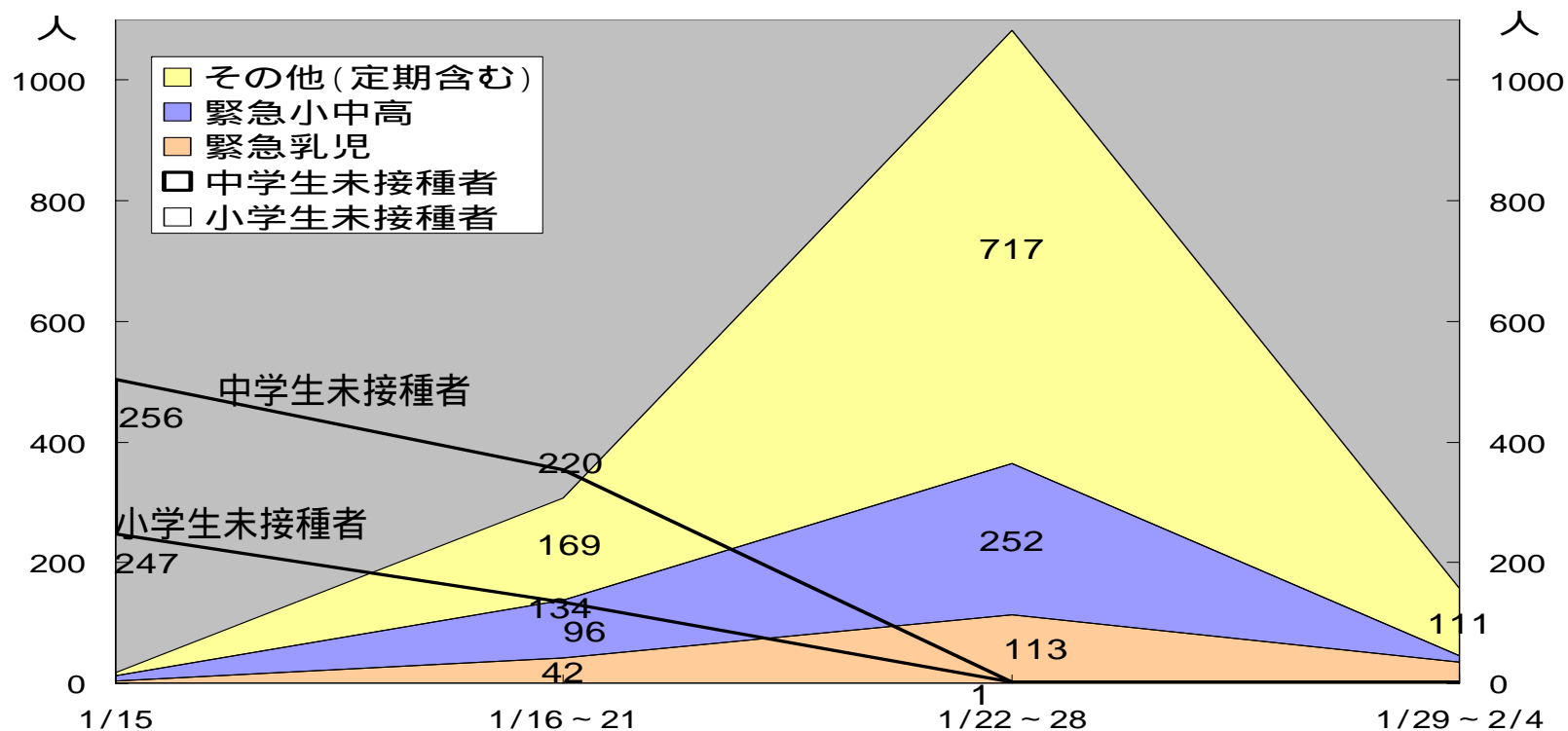
		出席停止者ゼロになった日
高校	3校20人	2/6
中学校	4校 6人	2/4
小学校	8校12人	2/6
	15校38人	

大館市内を含む県北部高校 12校181人

計 全24校199人

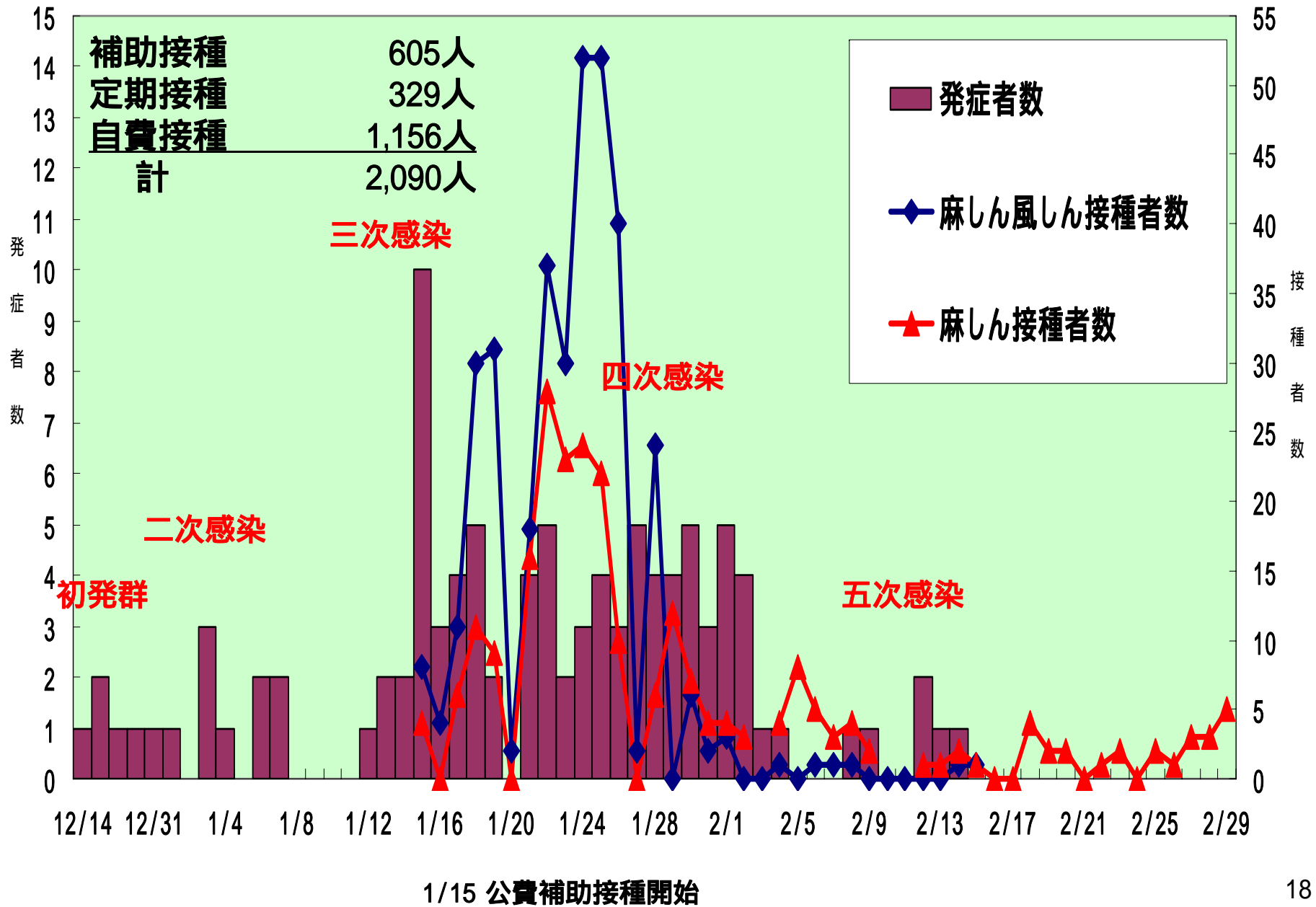
大館市行政・医療機関の対応

大館市内麻しん予防接種実施状況



- およそ2週間で小中学校の未接種者がいなくなった
- 公費補助外の接種者も急増した(社会的な予防意識の高まり)
(1/22 ~ 28の1週間は接種者が1,082人にのぼった)

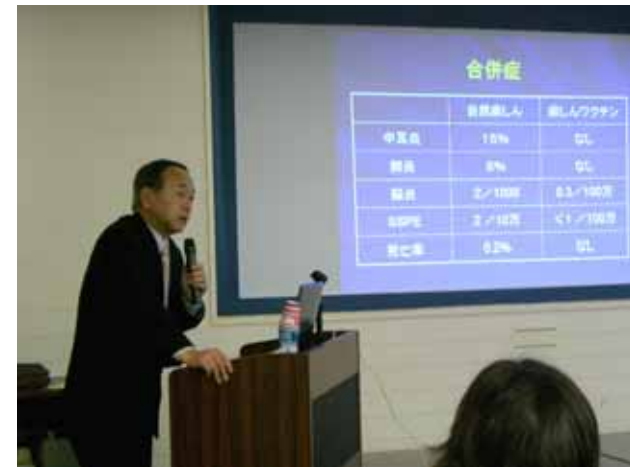
麻疹緊急予防接種接種状況及び麻疹発症状況(大館市:全)



県庁・教育委員会・医師会の対応

1/29 全県麻疹対策緊急会議：医療・教育・行政の共催
市町村の教委職員、予防接種担当者 100名出席

- 未接種児童生徒を確実に把握するよう指示
- 未接種者の出席停止を全県的に検討するよう助言
- 20年前の秋田県内での大流行を論文にまとめた著者(小児科医)が、出席者に全県的な警戒を訴えた



情報交換時、県南部の未発生が市が集団接種を決定を発言

医師会の対応

- 1/22 大館市麻疹緊急対策:大館北秋田医師会
・6か月以下の未接種児の登園停止指導
- 1/25 県医師会が発生状況(美の国あきたネット)を郡
市医師会長あてFAX、以後3/週
- 2/1 県医師会長が県市長会長と町村会長に面会
接種費用助成の要望(秋田市への拡大防止を重要視)
- 2/7 感染症等危機管理委員会緊急会議
教育委員会・県庁職員参加
- 2/20 秋田市医師会園医の会緊急会議 県庁職員参加

県北各市町村

予防接種の助成続々

はしか流行、拡大を懸念

県北のはしかの流行を受け、大館市が今月十五日から予防接種を受ける市民に費用の一部助成を始めたのに続き、周辺各市町村でも流行拡大を懸念し、助成する動きが広がっている。能代市が二十五日助成を開始したほか、鹿角市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村も同日までに始めている。

鹿角市、北秋田市、上小阿仁村は、乳児(生後六カ月―十二カ月未満)の三分の一相当を助成する。鹿角市と小坂町の助成額はともに一律三千元。自己負担額は市町村やワクチンの種類によって違い約三千五百円から約七千円となる。

実施期間は上小阿仁村が二月十五日まで、ほかは同二十九日まで。二十四日から実施している鹿角市と二十五日から実施の能代市は一月一日にさかのぼって助成の対象となる。

秋田市、五城目町、八郎潟町の十九機関。能代山本地域ではほかに、三種町が一月十五日にさかのぼり、二月二十九日まで、接種料金の三分の一を助成することを決め、詳細を語っている。また八峰町も助成実施の方向で検討中。藤里町は未定。

秋田市ではしか登

ワクチン接種呼び

大館市で患者の発生が相次いでいるはしかが、秋田市でも発生した。同市保健所によると、二十四日に三十代男性患者を

全県市町村へ接種助成の拡がり

調査 時期：平成20年2月、対象：県内全市町村
麻しんワクチン緊急接種助成の状況
県が実施

結果 全市町村 が生後6か月から18歳まで(秋田市は中学生まで)接種費用を助成していた。
未接種者がいない藤里町を除く

厚生労働省、国立感染症研究所の支援

1/6 「大館市で単抗原ワクチンが品薄」

厚生労働省血液対策課 秋田県

メーカーの在庫を確認

大館市の状況を結核感染症課に伝達

1/8 大館市立総合病院から同市保健センターへの公費補助接種進言へ

1/22 ~ 国立感染症研究所からの情報提供と助言

- 各種ガイドラインや文科省通知
- 石川県集団接種や練馬区患者サーベイ事例

1/29 全県緊急会議で情報提供

非常事態宣言を解除

大館市

麻しん流行
終息と判断

予防接種勧奨は継続

大館市は17日、麻しん
(はしか)の流行が終息
したとして、非常事態宣
言を解除した。市内では、
昨年12月から麻しんが流

行し、発症者の累計は1
04人に上った。

市内の小児科医らで構
成する市予防接種協議会
が14日に開かれ、先月14
日以降、1カ月間新たな
発症者が出ていないた
め、流行は終息したとの
認識で一致。協議会で終

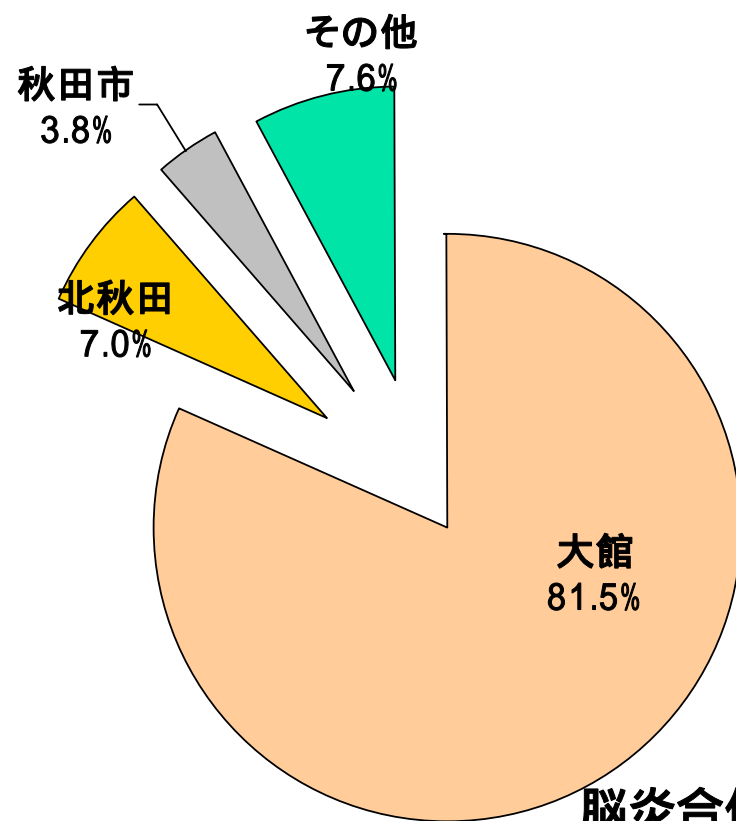
息宣言を出したのを契
機、市は1身を出してい
た非常事態宣言を解除。
この日、麻しんの終息を
市議会に報告した。

市は、今後も予防接種
の勧奨を継続する方針
で、「今回の事態を懸念
し、県産のワクチンに対
策をとり」と強調し、関
係機関の指導をいたした
ながら感染対策に取り
組むべしとVADJUSに。

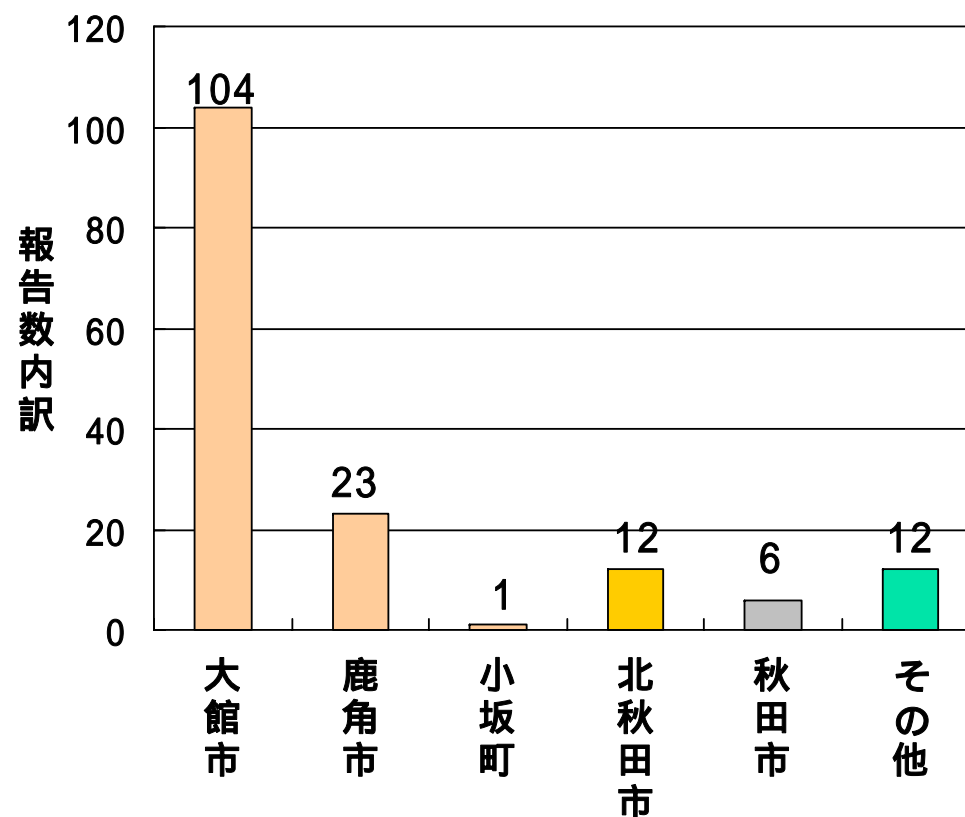
秋田県 麻しん発生届出状況

H19.12.19 ~ H20.3.14 報告数158

保健所別麻しん発生状況 (H19.12.19 ~ H20.3.14)



市町村麻しん別発生状況 (H19.12.19 ~ H20.3.14)



脳炎合併例や死亡例はなかった。

結果

- H20.1.15に大館市から始まった麻しんワクチン接種の公費助成が県内全市町村に広がった。
- H20.1.22に大館市、1.23に秋田県の教育委員会が決定した学校保健法第12条に基づく未接種者の出席停止により約2週間で対象者全員にワクチン接種を実施することができた。
- H19.12～H20.3、大館市の小中高校生を中心に158件の麻しん発生届があったが、局地的流行に留まり、脳炎合併例や死亡例はなかった。

考察

- **医療・教育・行政が連携して対策を実施できた要因**
 - 早期から関係者が専門家の意見を傾聴
 - 情報交換して危機意識を共有化
- **衛研の検査体制を整えた効果**
 - 医療機関の迅速な診断に寄与 迅速な届出
 - 情報の分析に寄与 対策に活用
- **前例のない対策が円滑に実施された背景**
 - 危機意識の共有化が地域住民にまで広がった
 - 行政等と報道が連携して啓発した効果